

◆◆◆ 平成19年度 主な主要施策 ◆◆◆

○みんなで作くりともに歩むまちづくり	
「まちづくり協働推進事業」	1,500千円
「人づくりまちづくり補助事業」	2,650千円
「市制施行50周年記念事業」	1,893千円
○明日を築き活力を生み出すまちづくり	
「北方領土隣接地域振興等基金事業」	75,700千円
「北海道水産業振興構造改善事業」	45,957千円
「中山間地域等直接支払交付金交付事業」	128,880千円
「根室パードランドフェスティバル開催事業」	1,000千円
○健康で安心してくらすせる心のふれあうまちづくり	
「高齢者バス等無料乗車券交付事業」	19,903千円
「診療所医療機器整備事業」	17,446千円
○快適で安らぎのあるまちづくり	
「交通安全施設等整備事業」	55,394千円
「都市公園環境整備事業」	6,000千円
「市営住宅等整備事業」	545,944千円
「消防ポンプ自動車購入事業」	46,859千円
「緊急業務高度化資機材緊急整備事業」	25,035千円
○北方領土の復帰をめざすまちづくり	
「北方領土隣接地域振興等基金事業」	5,840千円
「北方四島人道支援受入事業」	13,264千円
○心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり	
「光洋給食共同調理場整備事業」	29,703千円
「情報教育整備事業」	13,174千円

とともに、社会教育施設を拠点とした各種の事業を支援していきます。

▼生涯スポーツ社会の実現に取り組むとともに、地域の方々がスポーツを主体的に運営していく「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた各種取り組みを支援していきます。

▼総合文化会館を拠点に関係団体等と連携し、市民の創作活動の発表機会の充実に努めるとともに、芸術作品の鑑賞

機会の提供、音楽や伝統芸能など、文化活動への支援に努めます。

むすび

以上、平成19年度の市政執行にあたっての所信と施策の方針について申し上げます。今、地方は、自主・自立により、いかに个性的で魅力ある地域を創造するかが問われており、その力量が試される

生き残りをかけた地域間競争の時代に入っています。

その中で、個性豊かで自立した地域社会を築いていくための源は、市民一人ひとりの自由な発想と豊かな想像力、そして、その思いを結集し、ともに協力し可能性に挑戦していく熱い心にあると考えています。

私は、そのためにも市民皆さんと心をひとつに、成果や喜びを共有していきたいと考えています。

本年度は、私にとって市政運営の実質的なスタートとなる年です。

まちづくりの長い道程の中で一過性の対応に終始することなく、時代の変化を見据え、果敢に改革を推し進めるとともに、市民の皆さんの参加を得てその知恵と勇気を結集し、新しい時代への道を切り拓いていきたいと考えています。

多くの課題がありますが、市民の皆さんと闊達に意見を交わし、ふるさと根室を活力あるまちへと発展させるよう全力で取り組んでいきます。市民皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。私の市政方針といたします。

を最大限に伸ばす特別支援教育

・教育環境の整備 生涯学習を支援する 社会教育の推進

社会教育計画に基づき、市民の自主的な学習活動を支援するとともに、社会教育施設を拠点に各種の事業を推進していきます。

【社会教育施設における具 体的な取り組み】

・公民館事業の推進 市民が主体的かつ積極的に地域の学習素材をテーマに、各種講座の実施に努めます。

・勤労青少年活動の推進

「若ものの学園」や青年相互の親睦、交流を継続し、地域の発展に貢献できる青年団体の育成に努めます。

・図書館活動の推進

幼児から高齢者まで幅広く読書、学習、研究活動等への支援活動を効果的にを行います。

・博物館活動の推進

郷土の豊かな歴史と自然を市民に広く啓発するため、企画展や史跡見学会、自然観察会、学芸員講演会などを実施していきます。

・別当賀夢原館の利用推進
生涯学習活動の場として、社会教育団体をはじめ幅広い利活用の呼びかけと、各学校の体験活動などへの支援に努めていきます。

郷土に根ざした芸術・ 文化の振興

貴重な美術品の鑑賞機会の充実に努めるとともに、音楽・伝統芸能などの鑑賞機会の提供に努めていきます。また、文化財保護に努め、学校教育や博物館活動などを通じ活用機会の提供に努めます。

生涯スポーツ活動の 普及・振興

『根室市スポーツ振興計画』に基づき、市民一人ひとりがそれぞれの体力や年齢、技術などに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に取り組んでいきます。



小学校運動会